

荷物情報リアルタイムシステム

～次世代携帯電話を活用した 軒先荷物情報アップロード～

平成18年3月17日

ヤマト運輸株式会社

情報システム部 システム開発課
課長 飯田 利明

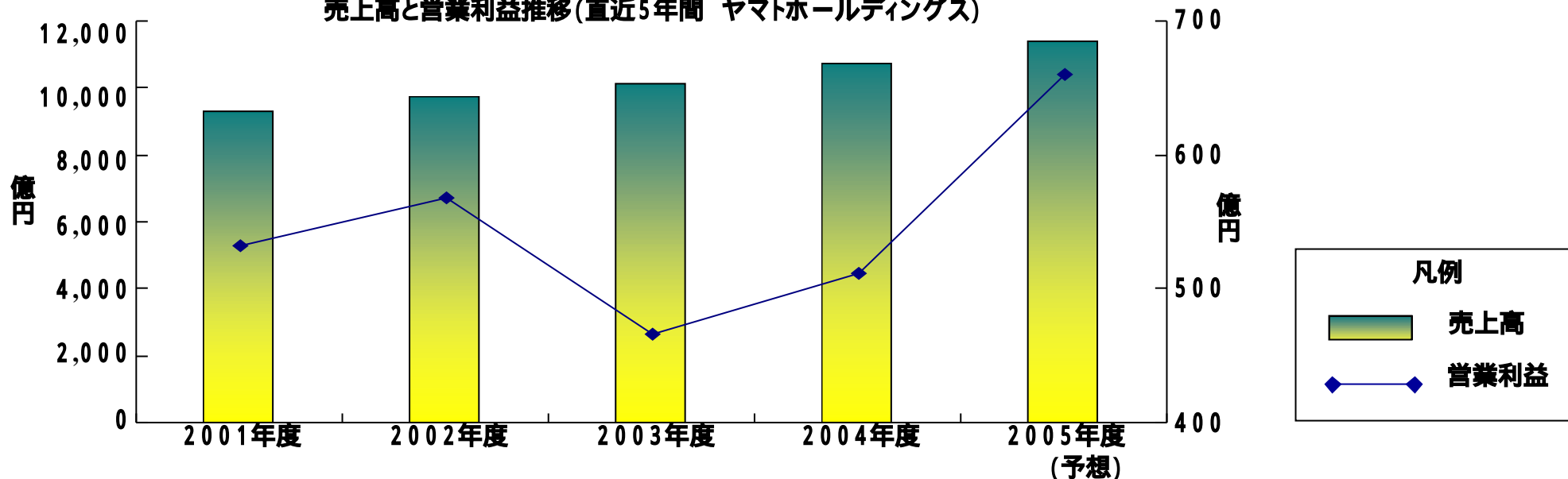
1. 会社概要



MCPC award 2006

創 立	1919年11月29日(大正8年) 平成17年11月持ち株会社制に移行
社員数	129,090人(2005年12月15日現在)
事業内容	宅急便・クロネコメール便を扱うデリバリー事業
事業所	8,347店(2006年1月1日現在)
車両数	42,568台(2005年12月31日現在)
取扱店数	全国のコンビニエンスストア、米穀店・酒飯店等全国約30万箇所

売上高と営業利益推移(直近5年間 ヤマトホールディングス)

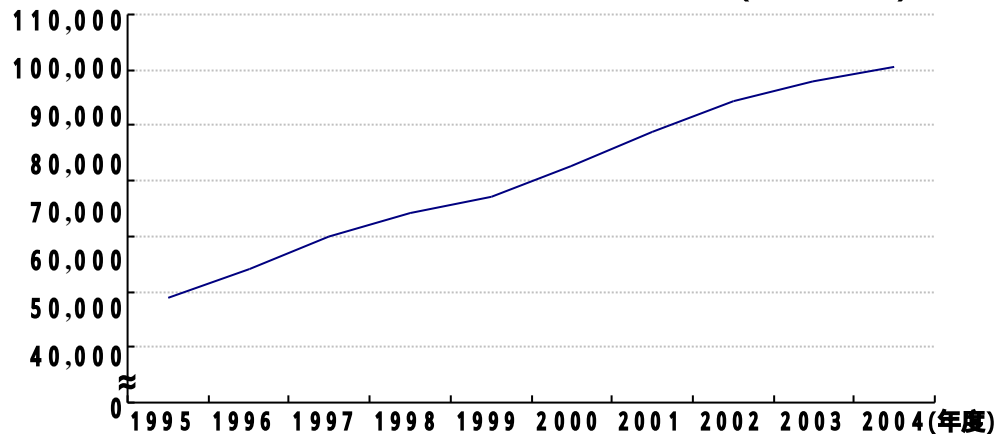


2. 宅急便とは？

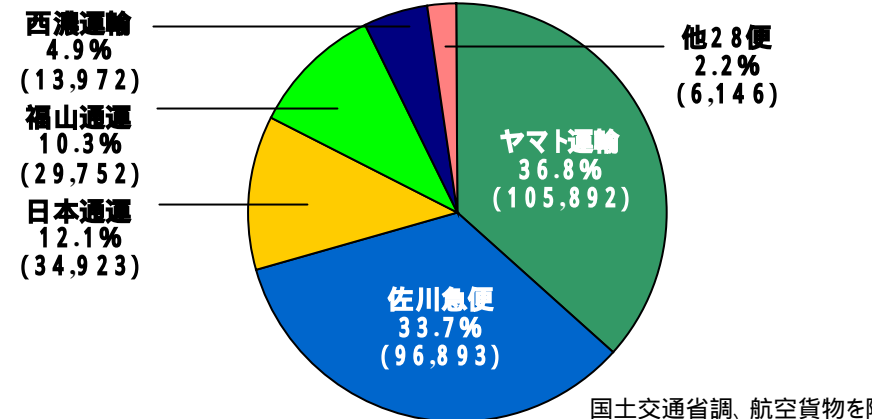


当社取扱個数 (2004年度実績)
宅急便個数
1,058百万個 約290万個/1日
クロネコメール便冊数
1,432百万冊 約390万冊/1日

【宅急便取扱個数の推移】



【2004年度宅急便シェア】



3. システム開発前の課題 ~セールスドライバー1日の業務パターン~



MCPC award 2006

午前

9:00 営業所を出発



お客様宅へ



荷物情報入力



12:00 営業所到着



荷物情報出力



営業所社内LANで上位にアップロード

午後

13:00 営業所を出発



お客様宅へ



荷物情報入力



17:00 営業所到着



荷物情報出力



営業所社内LANで上位にアップロード



荷物情報がリアルタイムでお客様に提供出来ていない...

【入力機能】旧型ポータブルPOS (Bluetooth機能非搭載)

- お客様、特に荷物を受取られる方の利便性が向上すること
- ドライバーが簡易に使えること
- 大量の導入がコスト増にならないこと
- 将来の拡張性に対応出来ること
- 開発スピードを速めること



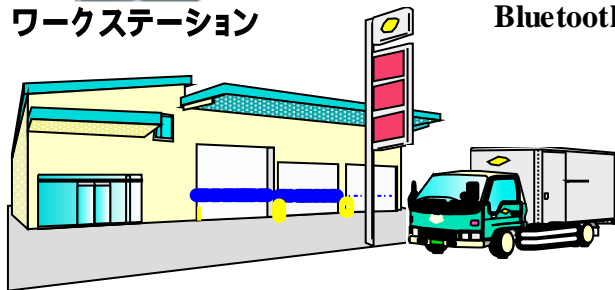
セールスドライバー(SD)実装機器 約40,000台



【営業所内 宅急便センター】

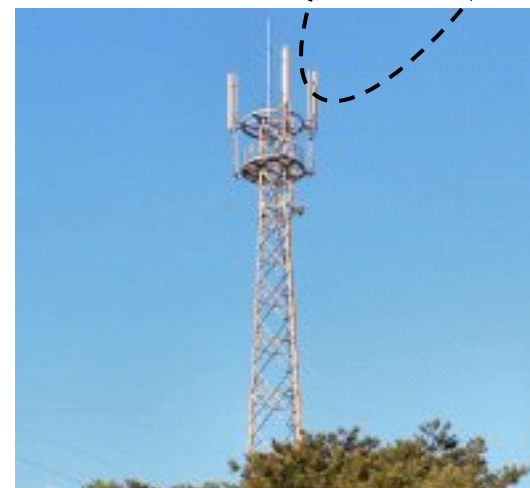
ワークステーション

Bluetoothアンテナ



【屋外】

携帯電話基地局



歳暮等繁忙期の増員稼働者 約25,000台



 Bluetooth™ 通信



 ポータブルPOS作業を
BREWアプリに代替

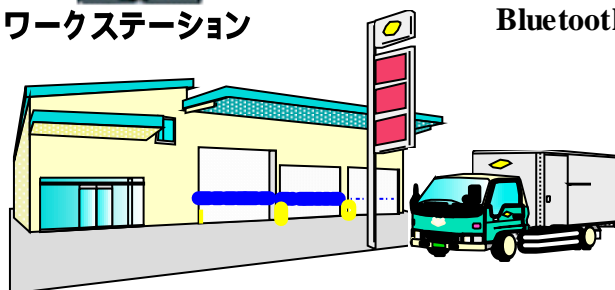
上位へのアップロードはSD利用部分に相乗り

 Bluetooth™ 通信

【通信 + 入力機能】
携帯電話

携帯電話ネットワークを用い
15分ごとにアップロード

【営業所内 宅急便センター】



【屋外】



携帯電話基地局

■ 荷物情報リアルタイムサービスの提供

■ 導入コストの削減

■ 携帯電話システムで利用方法が簡易

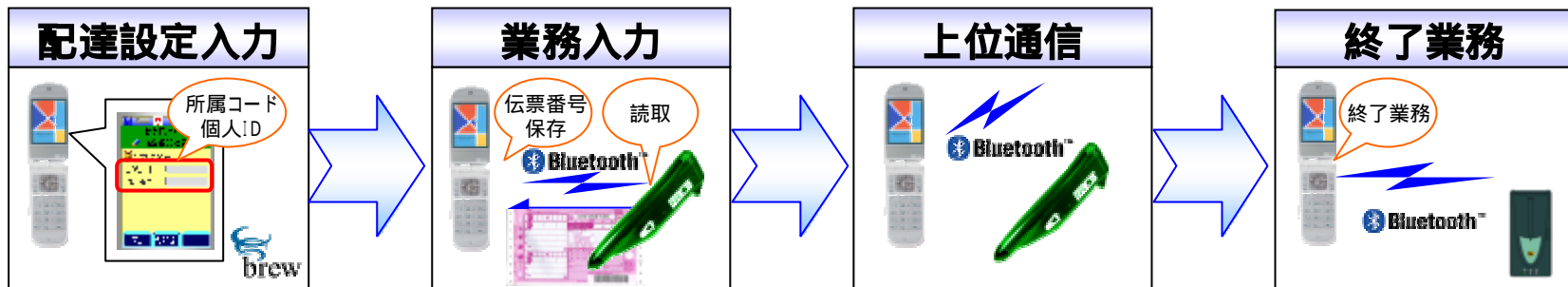
■ Bluetoothの採用

■ 運用効率の向上

■ 通信コストの抑制

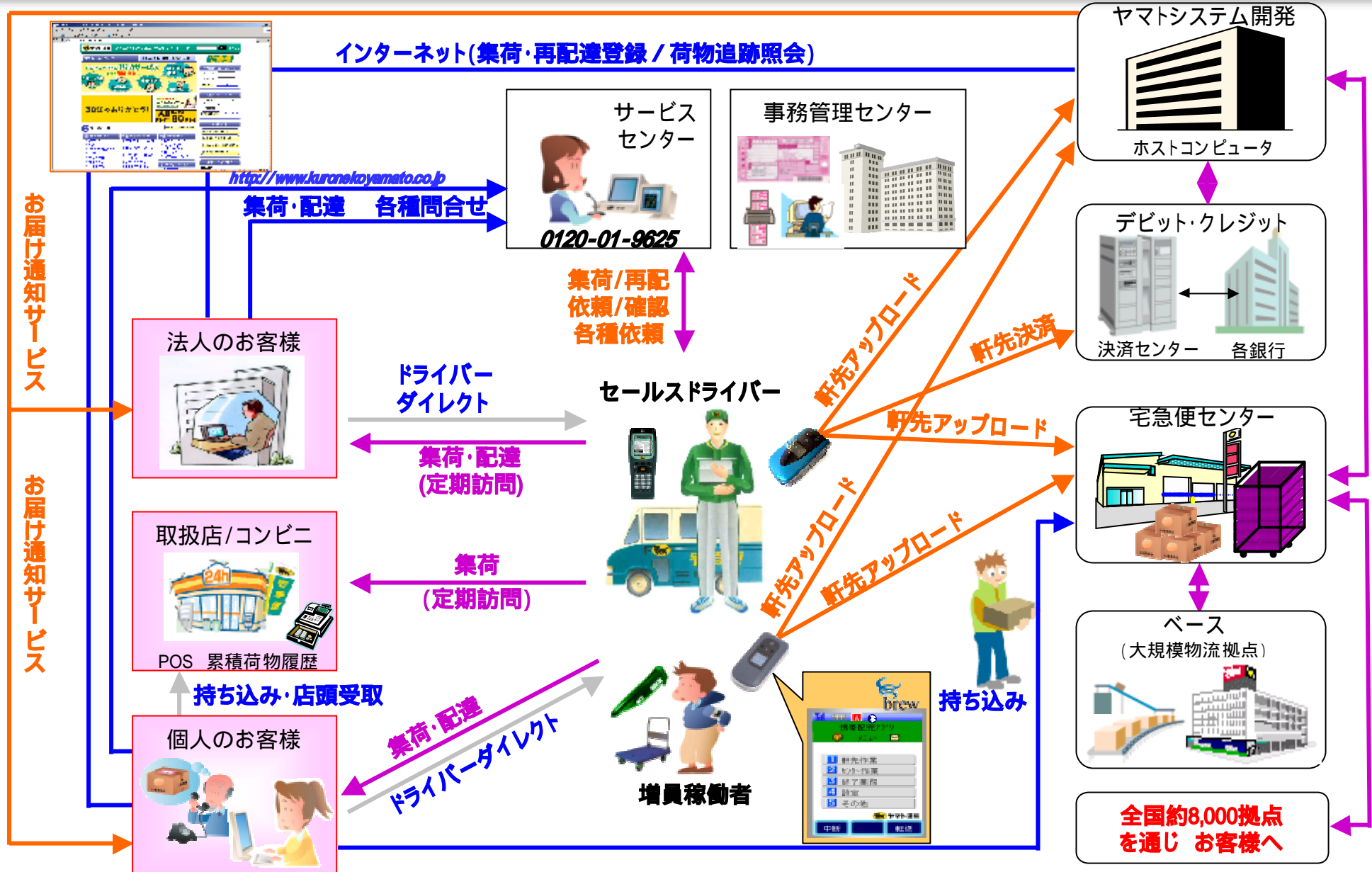


【稼働者の作業イメージ】



営業所では構内Bluetoothアンテナを使用
携帯電話ネットワーク使わず費用を抑制

8. 導入システムとお客様との関係



9. お客様への新サービス

宅急便 e-お知らせシリーズ
お届け予定eメール



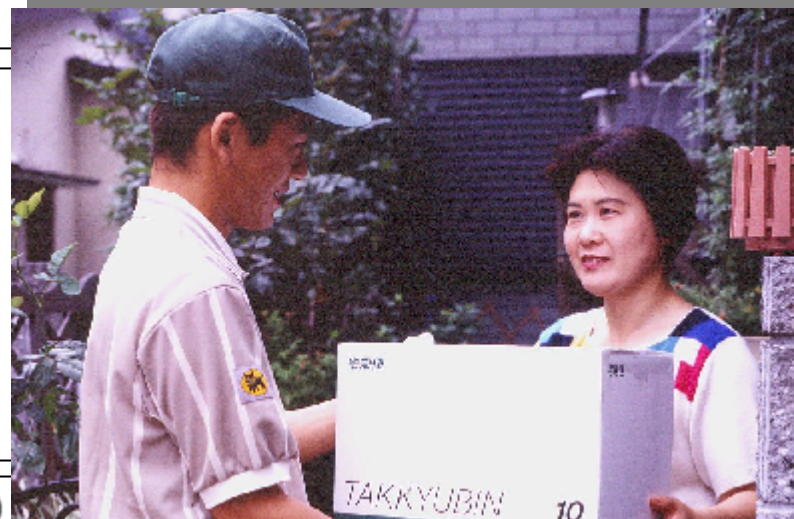
宅急便 e-お知らせシリーズ
ご不在連絡eメール



宅急便 e-お知らせシリーズ
お届け完了eメール



宅配ロッカー発送サービス



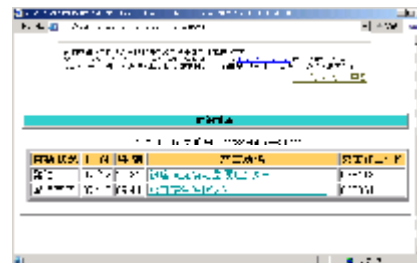
ドライバーダイレクト



宅急便 コレクト お届け時カード払い



荷物情報のリアルタイム化



宅急便 店頭受取りサービス



取扱コンビニは平成18年2月現在

 お客様サービスに終着点はありません。



ご清聴ありがとうございました。

 ヤマト運輸

MCPC award 2006

